

生産中止品



手動選択形 漏電リレー

LSG - 11L

作成日
2003/06/20

資料 HP535

本資料記載内容は、全て販売当時のものです。



定 格

形 式	LSG-11L
制御電源電圧	AC 100/200V
周 波 数	50/60Hz
定格感度電流	0.1 0.2 0.4 0.6 0.8 (A)
定格不動作電流	定格感度電流の 50%
定格動作時間	0.3 秒
慣性不動作時間	0.1 秒
出力接点容量	AC 250V 5A 力率1
動作時消費電力	AC 100V 40mA、AC 200V 20mA
不動作消費電力	AC 100V 30mA、AC 200V 15mA
商用周波耐電圧	AC 1500V 1 分間 (ケースと充電部一括)
復 帰 方 式	自動復帰式

低圧電路の漏電については、保安上の責任が重くなる傾向にあり、感電や漏電火災の保護が厳しく要求されつつあります。このため一般の変電室で数多くの分岐電路まで漏電を監視する必要がでてきました。当社では JIS C 8374 の規格に相当する検知機能と、多回路の選択機能を一台にまとめ、経済的な手動選択形漏電リレー LSG-11L 形を開発しました。

特 長

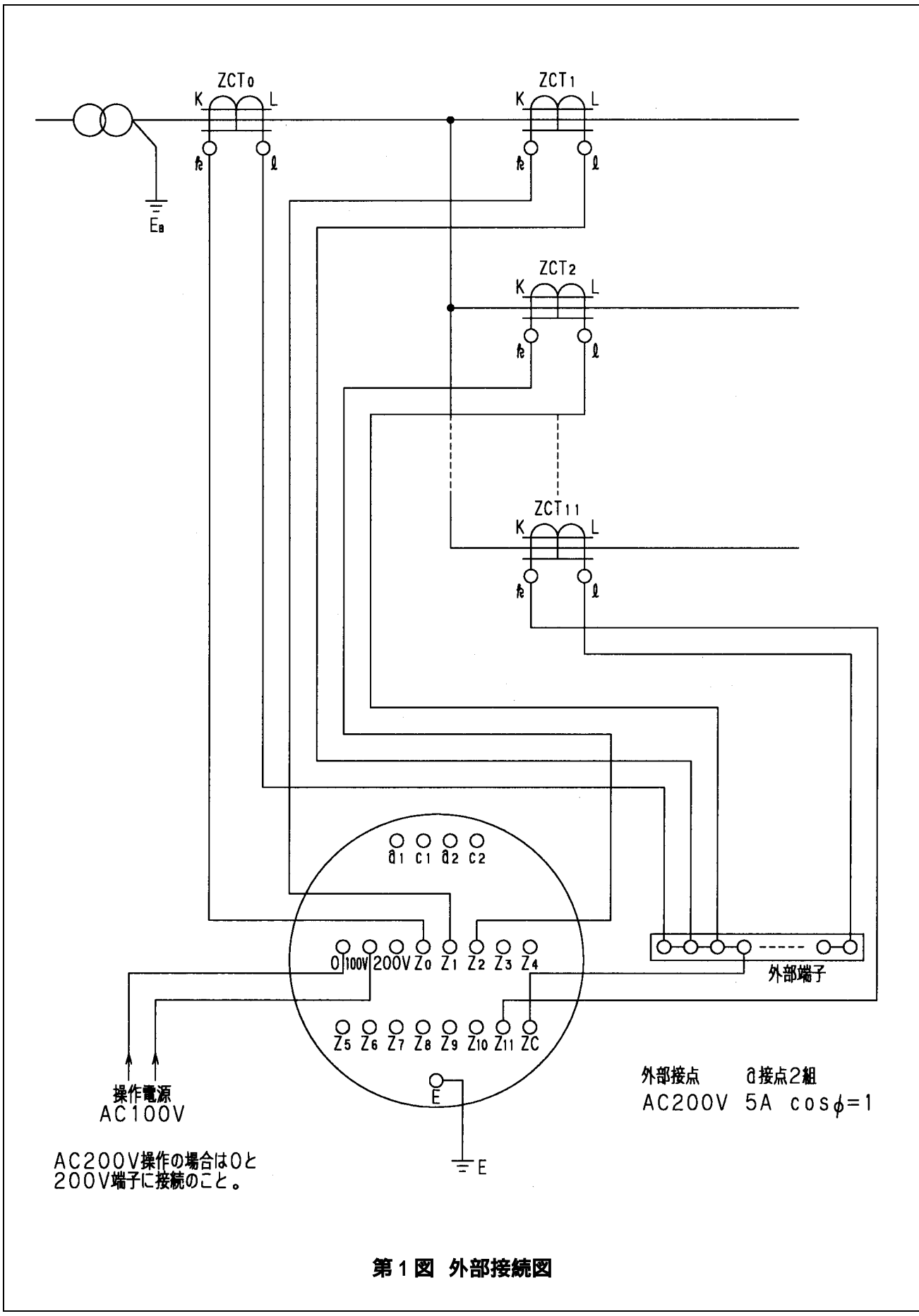
1. 1 台で漏電を検知すると共に、手動操作によりどの分岐電路に事故があったかを表示します。
2. 分岐主電路と 11 回路までを 1 台で使用できます。
3. 信頼度の高い IC を使用した静止形なので動作は確実で機械的な損傷はありません。
4. 異常電圧に対する保護は充分されています。
5. 電圧、周波数、温度などによる誤差はほとんどありません。
6. 性能 JIS C 8374 に準拠しています。
7. ZCT は、M30、SM41 ~ SM240、BM30 ~ BM64 のうちから選定してください。すべてに互換性がありますから、製造番号を合わせる必要はありません。

動作と施工

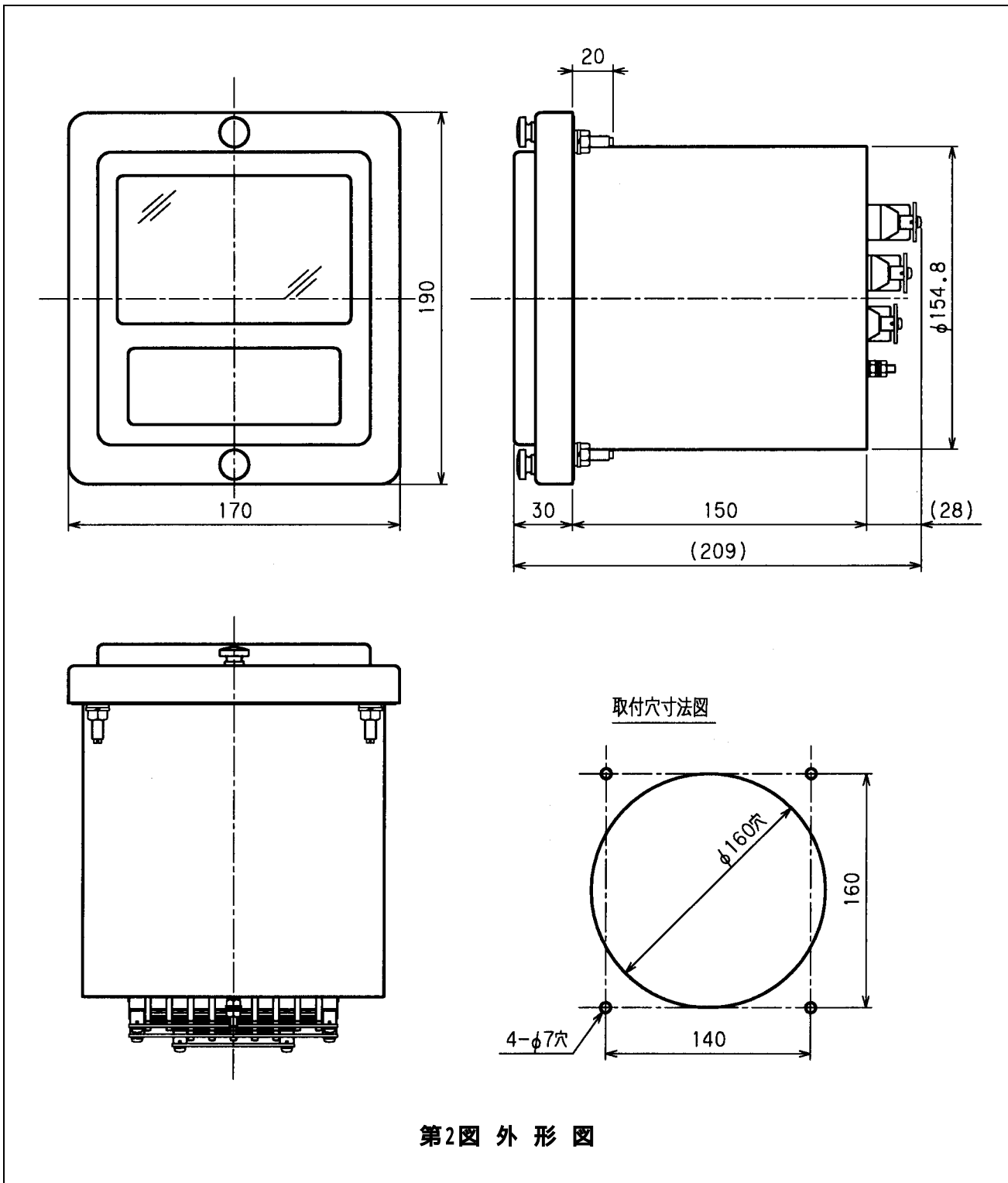
第 1 図のように主幹の零相変流器を ZCT0、分岐用を ZCT1、ZCT2...ZCT11 としたとき、いま No. 8 の回路に漏電があるとその電流は ZCT0、ZCT8 の両方に流れず、LSG-11L の右側の選択用スイッチは常時は No. 0 にありますから、LSG は動作します。

この動作中に選択スイッチを 0 1 2 の順に廻転させると No. 8 以外では漏電電流がないので LSG は動作しませんが、No. 8 は動作しますから事故のあった回路は No. 8 であることがわかります。LSG は自動復帰式ですから選択スイッチの操作はかならず本器の表示ランプの点灯中に行なってください。漏電事故の解消後や、漏電しゃ断器などを組合わせた回路では漏電電流がなくなるので本器による選択調査は不可能です。

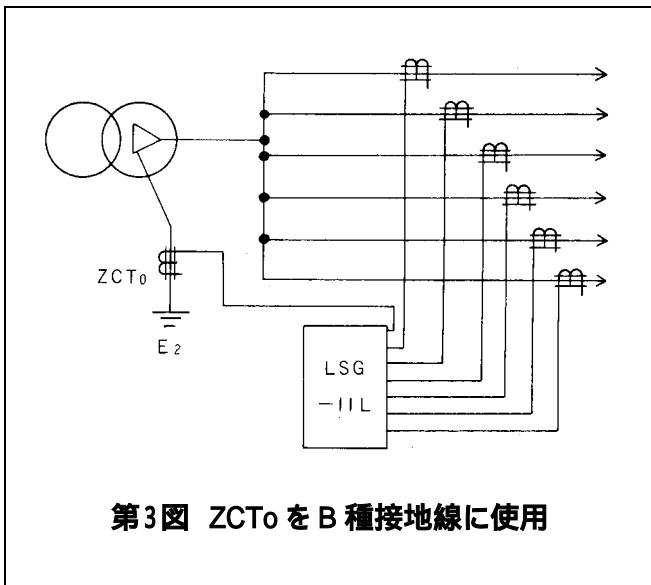
ZCT2 次配線は 0.75 mm^2 以上の電線を使い、片端子は第 1 図のようにそれぞれ Z00、Z01.....Z11 に、他端子は別途外部端子をリレーの近くに設置し、この端子に一旦受けてコモン接続してリレーの ZC 端子に接続してください。尚、k、ℓ の配線はできるだけ 2 本まとめて配線してください。



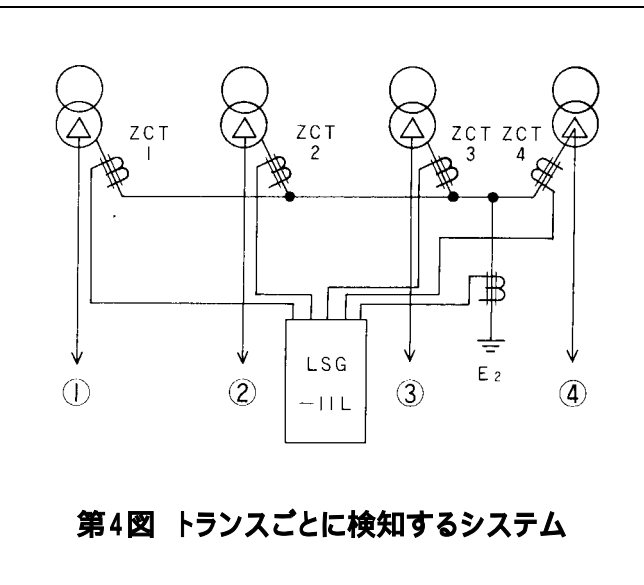
第1図 外部接続図



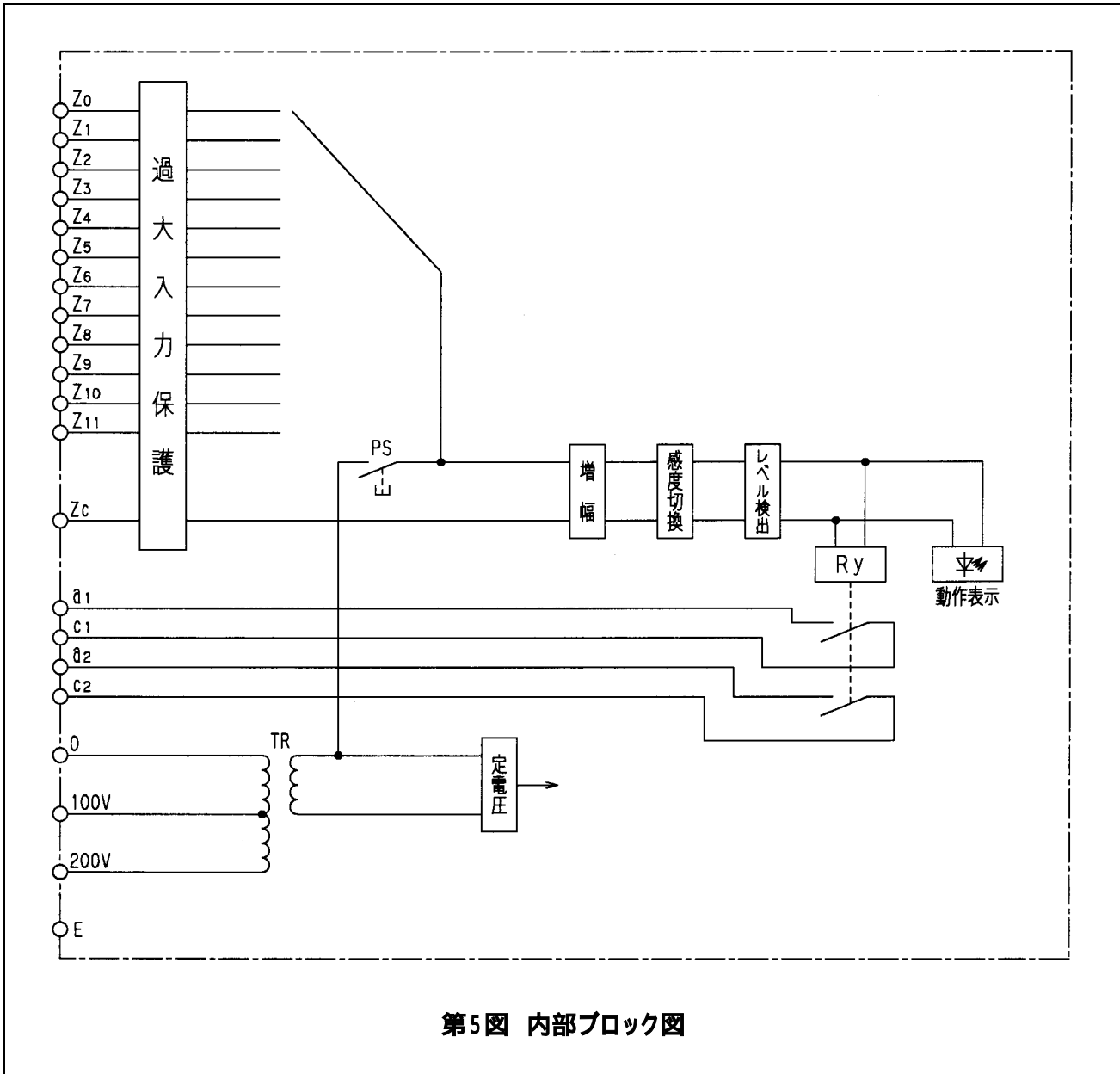
第2図 外形図



第3図 ZCT0をB種接地線に使用



第4図 トランスごとに検知するシステム



第5図 内部ブロック図